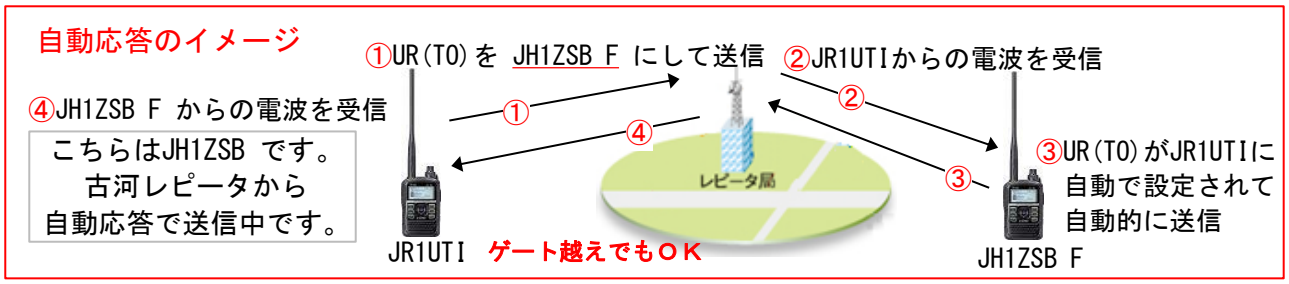
作成:2008/12/24, 修正:2014/02/03

自動応答の設定方法【ID-91, ID-92】

無線機に自動応答をセットすることにより、コールサインで呼ばれた時にメッセージやあらかじめ本体内に録音しておいた音声を自動送信する機能　【取扱説明書５９ページ】



１．自動応答の設定

①［MENU］ → DVｾｯﾄﾓｰﾄﾞ →［5 SKP］ → ｼﾞﾄﾞｳｵｳﾄｳ →［5 SKP］

②自動応答の項目

［8 TS］ か、ダイヤルを回して、ＯＮかオンセイを選択

ＯＦＦ　：自動応答しない
ＯＮ　　：自動応答して、メッセージのみ送信
オンセイ：自動応答して、メッセージと録音した音声を送信

③選択後［5 SKP］ ，［MENU］で、メニュー画面終了

【重要】一度ＰＴＴを押して送信すると解除(OFF)になるため、再設定が必要

２．自動応答の音声の録音

①［MENU］ → DVｵﾝｾｲﾒﾓ →［5 SKP］ → ｵｳﾄｳｵﾝｾｲ →［5 SKP］

②録音の開始と終了
開始：ＰＴＴを押しながら、録音（１０秒以内）
終了：ＰＴＴを放すか、録音時間が１０秒で自動停止

※注意：録音時は、受信音や雑音防止のためﾃﾞｭﾜﾙﾜｯﾁを解除してﾎﾞﾘｭｰﾑを最小にする

③録音後［5 SKP］を押すと、録音内容が聞ける

④録音操作終了は［4 DUP］ ，［MENU］で、メニュー画面終了

■録音例：「こちらは、JH1ZSBです。古河レピータから自動応答で送信中です」
※自局のコールサインと、どこのレピータかを入れておくとわかりやすい

３．コールサイン・メッセージの設定

①コールサイン：無線機名(Ａ～Ｆ)を付ける【例：JH1ZSB F】
理由：自動応答を設定している無線機を識別するために無線機名を付けておけば、呼出側がその無線機名を設定した場合のみ自動応答用無線機が反応します。
※識別の設定は「Ｆ」が多い。　(JQ1YOL D もあります)

呼出側		自動応答側		
UR:JH1ZSB	→	JH1ZSB F	→	応答しない
UR:JH1ZSB F	→	JH1ZSB F	→	応答する

UR:CQCQCQ　　CQCQCQ でＯＫ
R1:JP1YIK　　JP1YIK でＯＫ
R2:NOT USE*　　NOT USE* でＯＫ
MY:JH1ZSB F/AUTO　　/ の後は、AUTO, 430 , KOGA(4桁以内)など

注意：JARLの管理サーバーに、無線機名を付けた登録が必要

②メッセージ例：「JP1YIK / KOGA AUTO」,「JP1YIK KOGA REPEATER」など
※①のコールサイン設定 MY: の / の後との兼ね合いでわかりやすく設定
※音声の録音と同じで、レピータのコールを入れるとわかりやすい

４．呼び出し側のコールサインの設定

UR(TO)に、JH1ZSB F を設定する。
ＤＲモードを使用しない時は、R2にゲートウェイ設定が必要
■設定の参考WEBページ→ http://www2.odn.ne.jp/jr1uti/autoreply/

©2014 JR1UTI